

縄文のうた -あの時代と同じ風を感じて-

ユイライジテッペイ (岡谷市)

外に出て目を閉じてみたら

すれ違う風の向こうに 森の音^ねが聞こえた

^{ほほ}頬に触れた風を追って

遠い遠い縄文の時代^{とき}に誘われるこの街

いつの日も輝いている

朝日を背に この街を明るくしてくれるハヶ岳

暖かで 柔らかで そして…眩しくて

縄文の時代^{とき}と同じ日差しがこの街を照らしている

静かな 静かな 遺跡^{した}の地で

止ったままの時代^{とき}の想いはずっと未来見つめてた

美しき土^{うつわ}の器も石の飾りも 記憶^{あと}の跡^{かけ}を翔めぐる

過去と未来^{かけ}を翔ぬける

眠り覚めた女神達は 今、青い空を見ている

あの時代^{とき}のように吹く風^ひと陽を受けて